

コース名		専門人材特化型コース			
講座名		社会人向けサイバーセキュリティ人材育成講座(九州大学SECKUN)（共同事業）			
科目名		セキュリティ心理学			
必修・選択		—	単位	—	
概要・目的		【人のセキュリティ】、即ち、人間の心理や行動等を考えたセキュリティについて学ぶ。具体的には、国内では、『サイバーセキュリティ』とか『セキュリティ』という【ネットワークセキュリティ／コンピュータセキュリティ／暗号等】を想像する方が多いが、最近は、ネットワーク化されたコンピュータ業務を企業関係者だけでなく、外部の一般の人たちも利用することも多くなってきた。また、数年で人事異動があり、セキュリティの知識・経験が継続しない企業・組織では、知識・経験等の継続を考える必要がある。システム設計者の想定外の操作を端末利用者が行う場合があることを学ぶ。 また、セキュリティでは、事件・事故発生後に対応するのではなく、事前に問題点を把握し、その対応が必要になる。多くの端末利用者の特性を考え、システム対応だけでなく、関係する人達への教育・訓練の必要性、業務処理のセキュリティなどに対して、有用な事柄を例にして学ぶ。			
到達目標		最近のシステムやセキュリティでは、技術的セキュリティ分野だけを見据えるのではなく、心理学や行動科学等を考えた幅広い知識・経験を持つことが大切になる。また、学んだ知識・スキル・姿勢を活用して、セキュリティに関わる様々な状況において対応できる。			
授業方法		講義＋演習	実施形態	対面＋遠隔同期	
評価方法		本講義に関連レポート等（50％）及びプレゼンテーション評価／出席率等（50％）により評価する。		実施形態	同期日
授業項目	1	はじめに		対面+遠隔同期	調整中
	2	情報／セキュリティの特徴			
	3	セキュリティ心理学の必要性			
	4	事件・事故からセキュリティ心理学を学ぶ		遠隔同期	
	5	ソーシャルエンジニアリング			
	6	ヒューマンエラー（組織エラー）			
	7	環境犯罪学		遠隔同期	
	8	人間の6つの脆弱性			
	9	インテリジェンス（OSINT【オシント】Open Source Intelligence			
	10	物理的セキュリティ		遠隔同期	
	11	だまし：欺術			
	12	行動経済学とセキュリティ心理学			
	13	セキュリティ教育・訓練		対面+遠隔同期	
	14	セキュリティ文化の確立			
	15	おわりに			
使用教材					
特記事項		講義回数：1日程あたり3コマ×5回 9/6および10/4の対面講義会場は福岡市内を予定 講義は11:20開始、17:00終了予定(途中休憩あり) 開講後の申し込み受付不可			